

令和8年7月15日 政策企画部政策企画課

1. 内容

次期総合計画策定に係る市民参画手続の一環として、Webフォームを活用した市民意見を募集しました。

2. 募集期間

令和8年5月18日（月）～6月30日（火）

3. 調査対象

- (1) 奥州市に居住または通勤・通学している方
- (2) 奥州市出身者など、奥州市に関心を持っている方

4. 周知

- (1) 奥州市ホームページ及び市の各種SNS
- (2) 広報おうしゅう6月号
- (3) 市民活動情報誌irori
- (4) 市内高校等を通じてチラシ配架
- (5) 市民フォーラムでの周知

5. 従前の市民アンケートとの違い

- (1) 令和7年度市民アンケート
 - ・市民意識の変化を把握するため、定期的実施しているもの。
 - ・奥州市民（居住者）のみを対象としたもの。
- (2) 本アンケート（奥州市の未来に向けた意見募集）
 - ・特に若者や女性に選ばれるまちになるための具体的な意見を募集するもの。
 - ・奥州市民（居住者）だけでなく、通勤・通学者や出身者などのほか、関係人口も対象としたもの。

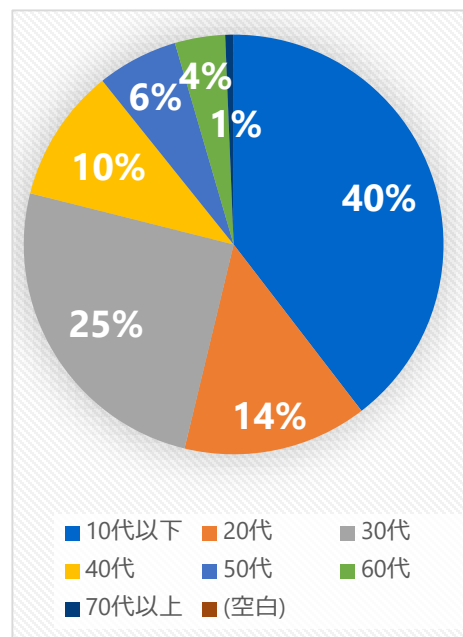
6. 回答数

総数：465件（うちフォーラム参加者43件）

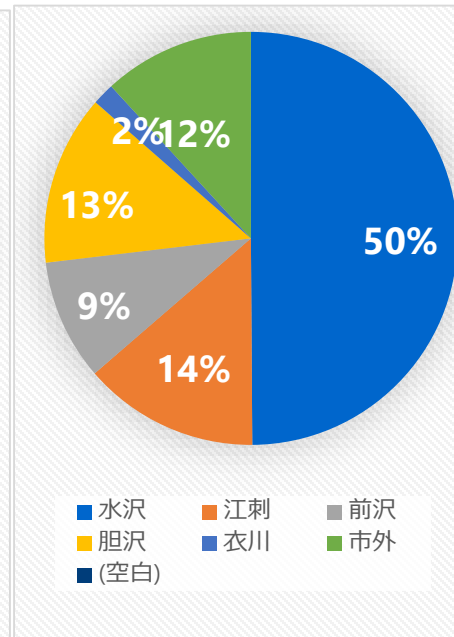
①性別

男 性	女 性	答えたくない
181	265	19

②年代



③地域

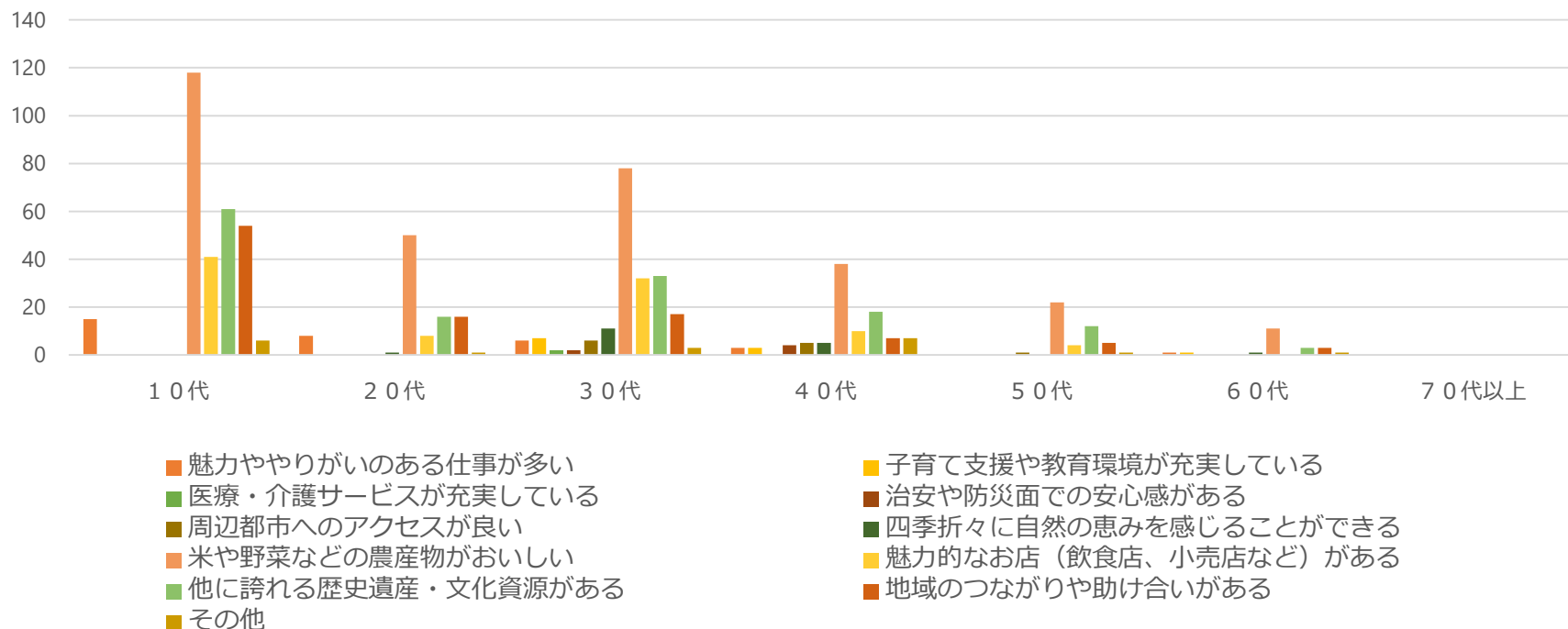


※市外内訳
 勤務または通学 40名
 出身者 12名
 買い物や遊びによく来る 3名

令和8年7月15日 政策企画部政策企画課

奥州市の強み（他の自治体に比べて有利）※3項目選択

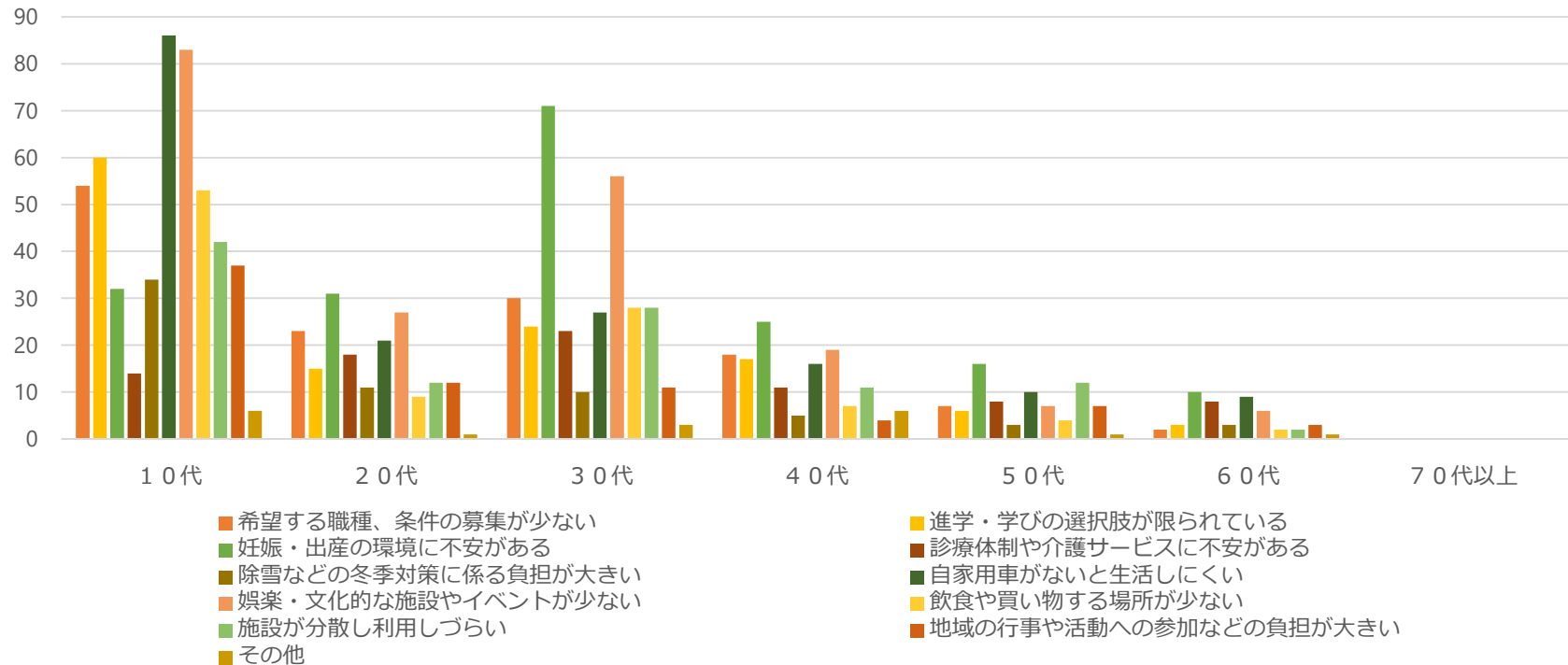
項 目	回答数	項 目	回答数
魅力ややりがいのある仕事が多い	33	子育て支援や教育環境が充実している	11
医療・介護サービスが充実している	2	治安や防災面での安心感がある	6
周辺都市へのアクセスが良い	12	四季折々に自然の恵みを感じることができる	18
米や野菜などの農産物がおいしい	317	魅力的なお店がある	95
他に誇れる歴史遺産・文化資産がある	143	地域のつながりや助け合いがある	102
その他	19		



令和8年7月15日 政策企画部政策企画課

奥州市の弱み（課題）※3項目選択

項 目	回答数	項 目	回答数
希望する職種、条件の募集が少ない	134	進学・学びの選択肢が限られている	125
妊娠・出産の環境に不安がある	185	診療体制や介護サービスに不安がある	82
除雪などの冬季対策に係る負担が大きい	66	自家用車がないと生活しにくい	169
娯楽・文化的な施設やイベントが少ない	198	飲食や買い物する場所が少ない	103
施設が分散し利用しづらい	107	地域の行事や活動への参加などの負担が大きい	74
その他	18		



奥州市のまちづくりに必要な取組（要約）

(1) 協働・生きがい分野

○ハード

- ・ショッピングモールや遊戯施設等、若者や多世代が遊べる・集まれる施設を求める声（16件）
- ・図書館の機能拡充・リニューアルを求める声（4件）
- ・博物館・資料館の建設・統合を求める声（3件）
- ・廃校・空き家をリノベーションし、人が集える憩いの場等としての活用を求める声（2件）
- ・公園の整備を求める声（2件）
- ・文化施設（ホール）を集約しつつ、シャトルバス運行でアクセス不便の解消を図る提案
- ・奥州市の情報が一堂に揃う場所の整備を求める声

○ソフト

- ・市のホームページやSNSなど、情報発信の強化・改善を求める声（5件）
- ・移住制度の拡充や市外出身者との交流の機会など、移住・定住促進を図るべきとの声（4件）
- ・外国人との交流・多文化共生を推進すべきとの声（4件）※一方で、懸念を示す声（3件）
- ・大谷翔平選手の出身地という強みを活かすべきとの声（3件）
- ・若者が楽しめるイベントや企画の充実を求める声
- ・地域の草刈り等、集落活動への負担感を示す声

奥州市のまちづくりに必要な取組（要約）

(2) 教育・子育て分野

○ハード

- ・産科や夜間や休日でも安心して受診できる小児科の設置・充実を求める声（35件）
- ・天候に左右されずに無料または低料金で遊べる屋内の遊び場を求める声（23件）
- ・こどもが安全に遊べる公園や遊具の整備・充実を求める声（7件）
- ・学校設備（トイレ・空調等）の改善や校舎の計画的な建て替えを求める声（6件）
- ・若者定住のため、大学や高度な教育が受けられる機関の誘致を求める声（5件）
- ・塾以外の自習スペースや、学生が気軽に使える学習の場を求める声（5件）
- ・不登校の子供が通えるフリースクールのような施設の設置を求める声

○ソフト

- ・産後ケアや子育て支援（保育料、給食費、学費の無償化、子育て世帯への給付など）の拡大（15件）
- ・教育格差を埋める多様な経験、特色ある教育（芸術、文化、AI、金融）の機会を求める声（7件）
- ・熊対策などの通学路の安全確保や、スクールバスの利用範囲拡大を求める声（4件）
- ・部活動の地域移行の早期実現と指導者の待遇改善を求める声
- ・学校との連絡方法の改善などによる保護者の負担軽減を求める声
- ・パパ・ママが交流できるイベントの開催を求める声

奥州市のまちづくりに必要な取組（要約）

(3) 健康・福祉分野

○ハード

- ・産科・夜間や休日でも安心して受診できる小児科の設置・充実を求める声（27件）
- ・新医療センター（市立病院）の早期整備を求める声（11件）
※既存の医療機関（胆沢病院、まごころ病院）の機能拡充・維持などの意見も含む。
- ・老人ホームなどの高齢者施設の増設・整備を求める声（5件）
- ・市民が利用しやすい運動施設の設置を求める声
- ・皮膚科、婦人科などの専門科、リハビリ専門施設などの整備を求める声

○ソフト

- ・産科医、小児科医をはじめとする医師や看護師の確保、その育成のための奨学金制度の充実等を求める声（6件）
- ・通院等に係る高齢者の移動手段の確保を求める声（5件）
- ・健康寿命を延ばすための施策（健康ポイント制度）や働く世代からの予防医療を推進する必要性を指摘する声（4件）
- ・オンライン診療や訪問診療の強化を求める声
- ・障がい者福祉に関する情報提供やサービスの拡充を求める声
- ・健康寿命の延伸とアスリートの怪我予防等を支えるリハビリ医療の充実を求める声

奥州市のまちづくりに必要な取組（要約）

（４）産業・経済分野

○ハード

- ・大型商業施設（ショッピングモール等）の誘致を求める声（17件）
- ・映画館や複合型アミューズメント施設などの若者の向けの娯楽施設の誘致を求める声（14件）
- ・観光客を誘致できる魅力的な道の駅や産直施設の設置・リニューアルを求める声（7件）
- ・駅前やメイプル周辺の再開発・活性化を求める声（6件）
- ・大谷翔平記念館や、市内に分散する歴史資料館・偉人館を統合した施設の整備を求める声（6件）
- ・企業誘致のための工業団地の設置を求める声
- ・牛の博物館に併設するレストランの復活を求める声
- ・体験型施設（農業体験、南部鉄器体験など）の整備を求める声

○ソフト

- ・大谷翔平選手の出身地ということを観光や地域活性化につなげるべきとの声（7件）
- ・食や伝統工芸などの特産品、歴史遺産、自然の魅力をもっと発信すべきとの声（7件）
- ・新規就農者への支援のほか、農地の委託、管理代行などの仲介を求める声（5件）
- ・若者が地元に残れるよう、魅力的な仕事や給与の高い仕事を増やすべきとの声（4件）
- ・企業・団体の農業経営を更に推進し、雇用による担い手確保を求める声
- ・起業しやすい環境づくりや、空き店舗を活用した開業支援を求める声
- ・市内イベントの魅力向上や工夫を求める声
- ・近隣市町村（一関・花北地域）との経済連携の必要性を指摘する声

奥州市のまちづくりに必要な取組（要約）

(5) 環境・防犯・防災分野

○ハード

- ・ 熊対策について、里山との境界フェンスの設置などの具体的な対策を求める声（7 件）
- ・ 街灯・防犯カメラの設置を求める声（4 件）
- ・ 効率的なごみ分別回収のためのリサイクルセンターや回収ボックスの設置を求める声（4 件）
- ・ 空き家の対策や有効活用を求める声（3 件）
- ・ 温水プールなど、ごみ処理熱を利用した施設の有効活用を求める声
- ・ 避難所のプライベート空間の確保や保安体制の強化を求める声

○ソフト

- ・ ごみの個別回収やリサイクルごみの回収方法の改善等を求める声（6 件）
- ・ 外国人増加による治安悪化への懸念を示す声（3 件）
- ・ 熊の出没や事件情報の迅速な情報伝達を求める声（2 件）
- ・ 消防団のあり方の見直しを求める声
- ・ 野焼きによる注意喚起の強化を求める声

奥州市のまちづくりに必要な取組（要約）

(6) 都市基盤・地域情報化分野

○ハード

- ・ こどもが遊べる遊具や、天候に左右されない屋内施設など、公園の充実を求める声 (13件)
- ・ 道路の凸凹や白線の引き直し、除雪体制の改善を求める声 (10件)
- ・ 水沢駅の駅舎改修（橋上化）やSuica導入を求める声 (7件)
- ・ 上下水道など生活インフラの計画的な維持管理を求める声 (4件)
- ・ 大谷翔平選手にちなんだ野球場の新設・リニューアルを求める声

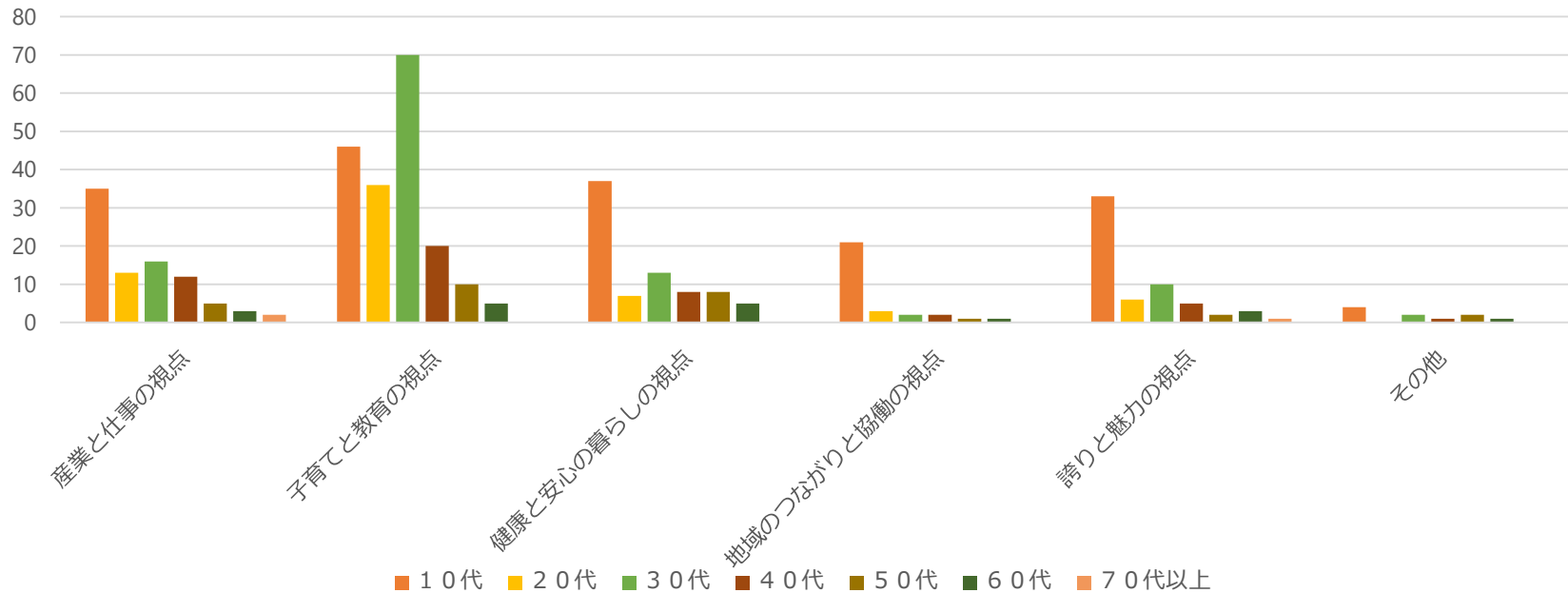
○ソフト

- ・ バスや電車のダイヤ拡充や接続改善など、公共交通の充実を求める声 (11件)
- ・ 駅への交通系ICカードの導入を求める声 (4件)
- ・ 高齢者や車を持たない市民のためのデマンド交通やライドシェアの導入・充実を求める声 (3件)
- ・ 市独自のウォーキングアプリの開発やフリーWi-Fiの整備
- ・ DX化に対応するための講習会の開催

令和8年7月15日 政策企画部政策企画課

住み続けたいまちにするために重視すべき視点

項 目	(参考例)	回答数
産業と仕事の視点	食とものづくりを基盤に、多様な仕事で稼げるまち	86
子育てと教育の視点	未来を創る子供たちが健やかに育つまち	187
健康と安心の暮らしの視点	医療・福祉が充実し、災害にも強く、だれもが安心して暮らせるまち	78
地域のつながりと協働の視点	世代を超えて支え合い、だれもが主役になれるまち	30
誇りと魅力の視点	歴史・文化・自然を未来につなぎ、人々をひきつけるまち	60
その他	・ 娯楽・飲食の充実、 ・ 学生にやさしい街（学習の場・食事の支援） ・ 市民一人ひとりの意識変化の必要性 など	10



自由意見

・ **子育て世代の流出と将来への危機感に関する指摘**

「市内で出産できず、小児医療も手薄な現状では子育て世代は定住しない」「このままでは高齢者しかない未来になる」など、市の存続に関わる強い危機感を示す意見が多数。特に「産科がない」ことは、若者や子育て世代が定住をためらう最大の要因として多数の方から指摘されている。

・ **市のビジョン・戦略の欠如に関する指摘**

「あれもこれもやろうとして中途半端」「他の自治体と同じことをしても勝てない」など、市の目指す方向性が見えず、独自の強みを生かした戦略がないという意見。

・ **近隣自治体との比較による競争力低下への懸念**

「北上や一関に人や消費が流れている」「子育て支援や商業施設で見劣りしている」など、近隣市町との競争に負けているという意見。

・ **若者世代の意見軽視と高齢者偏重への批判**

「高齢者の意見ばかりが通り、未来を担う若者や子供への投資が後回しにされている」という、未来への投資である子育て環境の整備が軽視されているのではないかという意見。

・ **若者の市外流出とUターン戦略の提案**

若者の流出は避けられないとしつつ、「一度外に出た若者が30代で子育てや起業のために戻りたくなるような、魅力的な仕組み（支援）を作るべき」など、地元での生活を考えるタイミングで「安心して戻れる」と思えるような、出産・育児環境の整備や就業・起業支援の充実を求める意見。

・ **地域内経済循環に関する指摘**

「奥州市で稼いだお金が、遊ぶ場所や買い物する場所がないために市外（北上・仙台）やネットで消費されている」という、経済的な流出を懸念する意見。

・ **「選択と集中」による財源の重点的配分の必要性**

「限られた予算の中で全てを良くするのは不可能。分野を絞って特化し、手厚い支援をすべき」という、現実的な財政運営を求める意見。特に「子育て支援」と「産業振興」に予算を重点化し、若者が安心して働き、暮らせる環境を整えるべきとの意見。

自由意見

・ **具体的・数値的な目標設定の必要性に関する提案**

「『魅力ある』『安心できる』といった抽象的な言葉ではなく、数値化できる具体的・客観的な指標を使ってまちづくりを評価・議論すべき」という、行政手法への提案。

・ **合併後の地域一体感の不足に関する指摘**

「合併から20年近く経っても、いまだに旧市町村の枠から抜け出せていない」という、市としての一体感の醸成や地域間の連携がなされていないことへの問題提起。

・ **行政からの情報発信不足と市民参画に関する指摘**

「まちづくりの議論が行われていること自体が市民に伝わっていない」など、行政と市民の間に距離があり、市民が市政に参加したくても情報が届きにくい（わかりにくい）状況を指摘する声。

・ **雇用の魅力不足に関する指摘**

「企業誘致を進めていても、若者が魅力に感じる多様な職種や、十分な給与を得られる仕事が少ない」という、定住の基盤となる雇用の問題を指摘する意見。

・ **「攻めの姿勢」を求める意見**

「守りの考えだけでなく、失敗を恐れず『大風呂敷』と言われてもいいから、他の市町村がやらないような攻めの施策に取り組んでほしい」という、大胆な変革を期待する声。

・ **地方ならではの魅力の再定義を求める意見**

「『自然が豊か』というだけでは若者は残らない」「今ある資源や田舎の魅力をどう活かすか、発想を転換すべき」といった、魅力をどう体験価値や経済価値に結び付けるかという、新たな地方創生のあり方への言及。また、当地域独自の文化である「厄年連」をポジティブに捉え、同世代のコミュニティを再構築する文化が大きな地域資源であるという指摘。

・ **行政や議会への指摘と期待**

「市長や議会はもっと若い世代の声を聞くべき」「これまでの市政で市が衰退した」「失敗を隠さず説明責任を果たすべき」といった厳しい指摘がある一方、「これからの市政に期待している」という変革への期待感もみられる。